

(様式6)

公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(令和2年 8月 6日)

事業コード	R02-農-新-06		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	農業農村整備調査計画費		部局課室名	農林水産部 農山村振興課
事業種別	県営かんがい排水事業		班 名	農村整備計画班 (tel)018-860-1855
路線名等	横手西部		担当課長名	農山村振興課長 阿部 浩樹
箇所名	横手市十文字		担当者名	主幹(兼)班長 藤原 慶一郎
プランとの 関連	政策コード	03	政 策 名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略
	施策コード	07	施 策 名	地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり
	指標コード	04	施策目標(指標)名	地域を守る防災・減災対策と施設の保全管理の強化

1. 事業の概要

事業期間	R3~R10(8年)	総事業費	21.4 億円	国庫補助率	50.00																																																																									
事業規模	排水路 L=5.9km																																																																													
事業の立案 に至る背景	<p>○ 本地域の用排水路は、昭和21年~同55年の国営雄物川筋土地改良事業で造成されたが、経年変化による劣化が著しく、また現況水路断面の不足により、大雨の度に溢水し、周辺農地や宅地等に甚大な被害を及ぼしている。</p> <p>○ このため、国では平成24年から国営横手西部地区かんがい排水事業により排水路の再編や改修を実施することとしており、併せて末端流域についても県営事業での一体的な整備が求められている。</p>																																																																													
事業目的	○ 国営事業と整合した排水路の改修を行い、溢水被害の防止を図るとともに、増大している維持管理費の節減と農家経営の安定化を図る。																																																																													
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全 体</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>2,140,000</td> <td>107,000</td> <td>505,000</td> <td>598,750</td> <td>929,250</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>1,760,000</td> <td>0</td> <td>440,000</td> <td>528,000</td> <td>792,000</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>43,000</td> <td>0</td> <td>11,000</td> <td>10,750</td> <td>21,250</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>337,000</td> <td>107,000</td> <td>54,000</td> <td>60,000</td> <td>116,000</td> </tr> <tr> <td>財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国庫補助</td> <td>1,000,000</td> <td>50,000</td> <td>236,000</td> <td>280,000</td> <td>434,000</td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>450,000</td> <td>24,000</td> <td>114,000</td> <td>135,000</td> <td>177,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>500,000</td> <td>23,000</td> <td>110,000</td> <td>130,750</td> <td>236,250</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>190,000</td> <td>10,000</td> <td>45,000</td> <td>53,000</td> <td>82,000</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>排水路 L=5.9km</td> <td>実施設計 N=1式</td> <td>排水路 L=1.4km</td> <td>排水路 L=1.4km</td> <td>排水路 L=3.1km</td> </tr> </tbody> </table>							全 体	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	事業費	2,140,000	107,000	505,000	598,750	929,250	経費						工事費	1,760,000	0	440,000	528,000	792,000	用補費	43,000	0	11,000	10,750	21,250	その他	337,000	107,000	54,000	60,000	116,000	財源						国庫補助	1,000,000	50,000	236,000	280,000	434,000	県債	450,000	24,000	114,000	135,000	177,000	その他	500,000	23,000	110,000	130,750	236,250	一般財源	190,000	10,000	45,000	53,000	82,000	事業内容	排水路 L=5.9km	実施設計 N=1式	排水路 L=1.4km	排水路 L=1.4km	排水路 L=3.1km
		全 体	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降																																																																								
事業費	2,140,000	107,000	505,000	598,750	929,250																																																																									
経費																																																																														
工事費	1,760,000	0	440,000	528,000	792,000																																																																									
用補費	43,000	0	11,000	10,750	21,250																																																																									
その他	337,000	107,000	54,000	60,000	116,000																																																																									
財源																																																																														
国庫補助	1,000,000	50,000	236,000	280,000	434,000																																																																									
県債	450,000	24,000	114,000	135,000	177,000																																																																									
その他	500,000	23,000	110,000	130,750	236,250																																																																									
一般財源	190,000	10,000	45,000	53,000	82,000																																																																									
事業内容	排水路 L=5.9km	実施設計 N=1式	排水路 L=1.4km	排水路 L=1.4km	排水路 L=3.1km																																																																									
調査経緯	<p>○ 平成30年度調査計画 (調査費 8,000千円 国100%)</p> <p>○ 令和元年度実施計画 (調査費 1,300千円 県50%、地元50%)</p> <p>○ 令和2年度調査計画 (調査費 1,500千円 県50%、地元50%)</p>																																																																													
上位計画での 位置付け	<p>○ 第3期ふるさと秋田元気創造プラン「地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり」</p> <p>○ 第3期ふるさと秋田農林水産ビジョン</p>																																																																													
関連プロジェクト等	○ 国営かんがい排水事業「横手西部地区」																																																																													
事業を取り 巻く情勢の 変化	○ 横手市十文字地域は高収益作物の栽培が盛んであり、加工品の販売など付加価値向上に向けた取組もなされているが、降雨形態や土地利用の変化等により、近年、農地等の湛水被害が頻発しており、安定的な生産に支障を来している。このため、農業生産の基盤となる農業水利施設の整備について、地元のニーズが高まっている。																																																																													
事業効果把 握の手法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標 名</th> <th colspan="2">国営関連事業採択地区数</th> <th rowspan="2">低減指標の有無 データ等の出典</th> <th rowspan="2">○ 有 ● 無 農業農村整備事業管理 計画</th> </tr> <tr> <th>指 標 式</th> <th>採択地区数</th> <th>計画採択地区数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の種類</td> <td colspan="2">○ 成果指標 ● 業績指標</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td colspan="2">7 地区 (R5末)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td colspan="2">3 地区 (R1末)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">42.9 %</td> <td>把握の時期</td> <td>令和2年 6月</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R2.6時点で事業化済みの国営事業に関連する工区数。</p>					指 標 名	国営関連事業採択地区数		低減指標の有無 データ等の出典	○ 有 ● 無 農業農村整備事業管理 計画	指 標 式	採択地区数	計画採択地区数	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標				目標値 a	7 地区 (R5末)				実績値 b	3 地区 (R1末)				達成率 b/a	42.9 %		把握の時期	令和2年 6月																																													
指 標 名	国営関連事業採択地区数		低減指標の有無 データ等の出典	○ 有 ● 無 農業農村整備事業管理 計画																																																																										
指 標 式	採択地区数	計画採択地区数																																																																												
指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標																																																																													
目標値 a	7 地区 (R5末)																																																																													
実績値 b	3 地区 (R1末)																																																																													
達成率 b/a	42.9 %		把握の時期	令和2年 6月																																																																										

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現況排水路の断面不足により機能低下が生じており、豪雨発生時には周辺が湛水し農地に被害を及ぼすほか、近隣住民にも大きな不安を与えていることから、早急な改修が必要である。 ○ 水路の不等沈下により、土砂上げなどの維持管理コストが増大している。 	15点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水路本体やゲート設備の老朽化に伴い、毎年維持補修が生じている。 ○ 本事業は国営事業による排水再編の一環であり、国営計画と歩調を合わせた事業実施が不可欠である。 	18点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業の受益地では、既存法人がドローンを活用した農薬散布や、スーパーや道の駅等での野菜販売など独自の販路を生かした営農を展開しており、水路の整備により更なる営農の安定化が図られる。 	25点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業と国営事業が相乗して、作物の生産性向上や維持管理費の軽減が図られるとともに、排水改良による湛水被害の防止など、多様な効果が見込まれ、費用対効果は2.08となる。 	10点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業の事業採択について、国営事業の推進と併せて平成23年度に関係土地改良区理事会において議決がなされている。 ○ 地域環境検討委員会で地区の環境保全への取り組みについて十分検討されており、熟度は高い。 	21点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 農業基盤の核となる農業用水確保のため、地域関係者一丸となった各種取組は、同じような問題を抱える地域の模範となるものであり、事業の必要性・緊急性・熟度等どの項目でも評価点は高い。	89点
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 本事業は、国営かんがい排水事業と連携して周辺農地の湛水被害を防止するとともに、農業用水の安定供給を図るものであり、手段に代替性がなく、水稻を基幹産業とする本県農業にとって必要不可欠な生産基盤整備であると判断され、事業の実施は妥当と考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用事業名 かんがい排水事業

事業コード (R02-農-新-06)
箇所名 (横手市十文字町)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要		
必要性	事業の必要性	被害の発生頻度	施設の規模等が不十分で用水不足や湛水被害が頻発している	10	10	排水断面が不足しており、湛水被害が頻発		
			施設の規模等が不十分で用水不足や湛水被害が発生した経験がある	5				
		施設の劣化状況	施設の経年劣化が著しく操作管理に支障を来している	10	5	5	施設の劣化により土砂堆積が著しい	
			施設の経年劣化が著しく維持管理の負担が増大している	5				
		計		20	15			
緊急性	事業未実施の影響	応急対策の実施状況	施設の老朽化が進行し応急対策が常態化している	5	5	水路の老朽化により毎年補修を実施		
			施設の老朽化が進行し応急対策が増加傾向にある	3				
		受益者の高齢化状況	受益者に占める65歳以上の割合が70%以上	5	3	3	高齢化率 68%	
			受益者に占める65歳以上の割合が70%未満	3				
		他事業との連携、被害の発生状況	他の公共事業等と連携を図るため早急に事業を実施する必要がある	10	5	10	国営かんがい排水事業「横手西部地区」	
近年における農業被害の発生状況から整備の緊急性が高い	5							
		計		20	18			
有効性	県の政策との整合	第3期ふるさと秋田元気創造プラン	プランに掲げている事業である	5	5	第3期ふるさと秋田元気創造プランに関連		
			プランとは別の計画に掲げられている事業である	3				
		関連事業	関連ほ場整備事業により面的整備が実施済み	5	3	5	福地地区(H18完了)	
			関連ほ場整備事業が予定されている	3				
				期待される具体的効果				
		収益性の向上	主食用米を除く生産額に占める高収益作物の割合が8割以上	5	3	5	高収益作物割合 91.9% 増加率 45.8%の増	
			主食用米を除く生産額に占める高収益作物の割合が5割以上、かつ50%以上増加	3				
		高付加価値化	6次産業化、ブランド化、独自の販売先の確保などの実績がある	5	1	5	道の駅十文字や直売所等で収穫した野菜の販売	
6次産業化、ブランド化などに向けた具体的な取組がある	3							
6次産業化、ブランド化などに向けた取組を検討中	1							
省力化技術の導入	スマート農業の実績がある	5	1	5	ドローンによる農薬散布を実施(十文字ファーム)			
	スマート農業の実現に向けた具体的な取組がある	3						
	スマート農業の実現に向けた取組を検討中	1						
		計		25	25			
効率的性	事業の投資効果	費用対効果	$1.20 \leq B/C$	5	5	費用対効果 2.08		
			$1.11 \leq B/C \leq 1.19$	3				
			$1.00 \leq B/C \leq 1.10$	1				
		事業費の節減						
コスト縮減計画	コスト縮減策を事業計画に反映	5	3	5	用地買収コストを反映した路線選定としている			
	コスト縮減策を事業計画に反映、但し関係機関との再調整が必要	3						
		計		10	10			
熟度	地元の合意形成の状況	同意状況	土地改良区の総会等で事業推進の議決が得られている	5	3	雄物川筋土地改良区理事会で議決が得られている(H23.10.24)		
			土地改良区の理事会で事業推進の議決が得られている	3				
				造成施設の維持管理体制				
		土地改良区の管理体制	委員会形式など体系的な組織により適切な維持管理が行われている	5	3	5	国営施設管理等で維持管理体制が整っている	
			施設管理に精通した組合員により適切な維持管理が行われている	3				
		日本型直接支払の取組	活動組織等により施設の維持管理体制が確立されている	5	0	5	共同活動を行っている	
			活動組織等により施設の維持管理体制を整える予定である	3				
			活動に取り組んでいない	0				
		各種協議の進捗状況						
進捗状況(河川協議、道路協議、林地開発、指定区域等)	協議を終了しており、基本的事項について合意が得られている	5	3	3	一部協議中であるが、合意が得られる見込み			
	協議中であり、基本的事項について合意が得られる見込みである	3						
	協議中である	1						
		環境との調和						
環境配慮対策	環境情報協議会の意見を踏まえた環境配慮対策を計画に反映	5	3	5	環境検討委員会で環境保全の取り組みを検討済み			
	環境情報協議会の意見を踏まえた環境配慮対策を検討中	3						
		計		25	21			
		合計		100	89			

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上		
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		